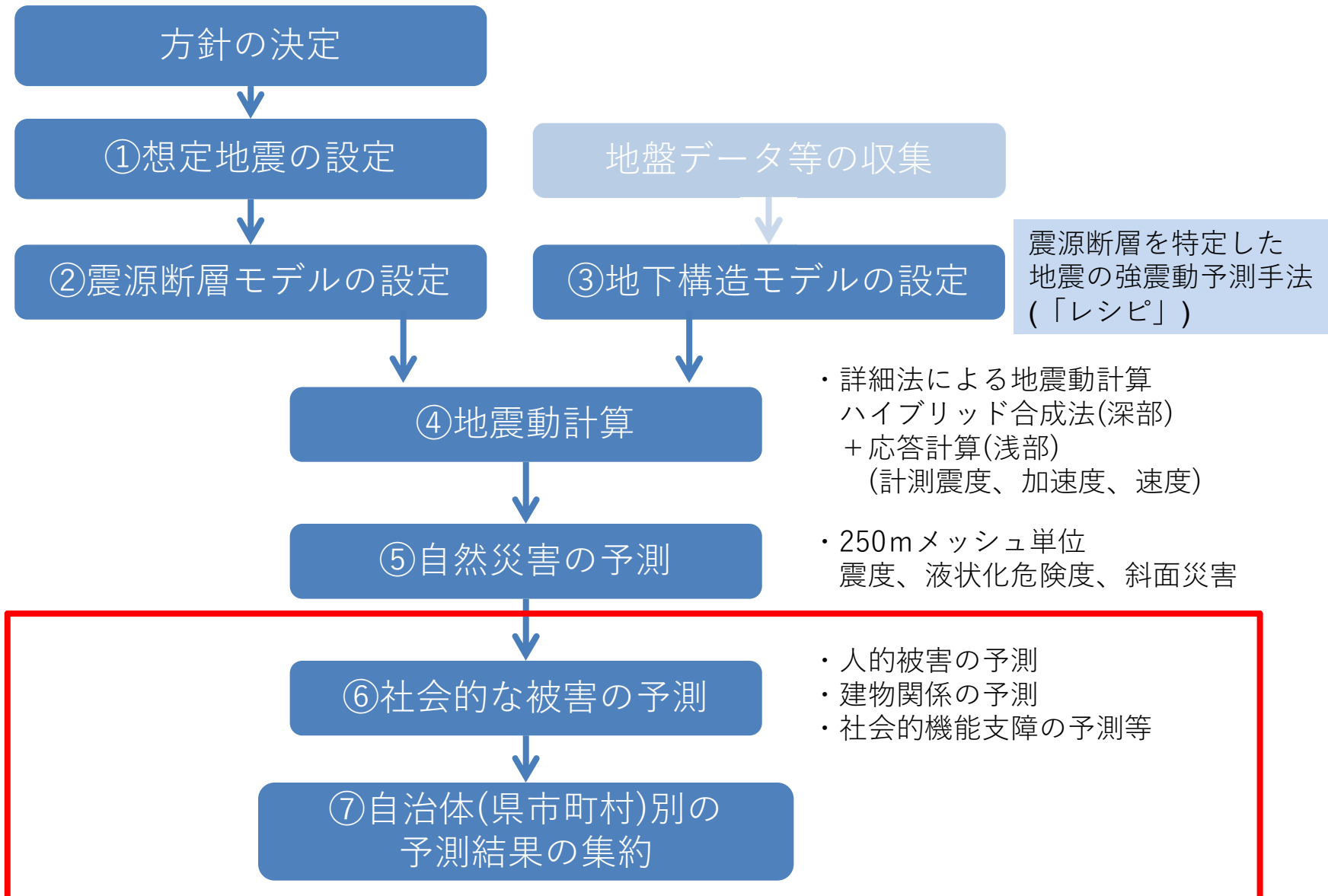


地震被害想定調査結果(案) の概要について

平成31年2月14日

大分県有識者会議 事務局

地震被害想定調査の流れについて



想定する地震

- 地震調査研究推進本部による長期評価(平成29年12月)をうけて、詳細法を用いて改めて地震動を計算する地震
 - 中央構造線断層帯による地震
 - 日出生断層帯による地震
 - 万年山-崩平山断層帯による地震
- 社会的な被害予測(人的被害)のみ*を更新する地震
 - 南海トラフの巨大地震
 - 周防灘断層群主部による地震
 - プレート内地震

*地震動はH20・H25調査結果(県)を活用

過去調査の想定地震と 今回想定する地震

H20年3月県地震被害想定調査			H25年3月県地震津波被害想定調査			今回調査		
想定地震	Mw	備考	想定地震	Mw ^{※2}	備考	活断層名	Mw	備考
① 日向灘	7.5	日向灘北部(1968年日向灘地震の震源断層)を想定	南海トラフの巨大地震 ^{※1}	9.0 (9.1)	4連動(駿河湾域、東海、南海域、日向灘域)を想定	南海トラフの巨大地震 ^{※1}	9.0 (9.1)	4連動(駿河湾域、東海、南海域、日向灘域)を想定
② 東南海・南海 ^{※1}	8.6	2連動(東南海・南海)を想定						
③ 中央構造線	7.6	四国西部の川上断層以西	豊予海峡セグメント 別府湾の地震(慶長豊後型) ^{※1}	7.2 (7.5)	豊予海峡セグメントのみ豊後慶長地震(1596年)の歴史記録と整合性がとれるようすべり量等を調整	中央構造線断層帯	7.9	豊予海峡セグメント以西(Mw7.2)は、ローカルデータを重視する。別府湾の断層群は、地下深部の地震発生層付近では中央構造線断層帯に収斂する二次的な断層とされており、震源断層としては想定されていない。
④ 別府地溝南縁断層帯	7							
⑤ 別府湾断層帯	6.9							
⑥ 周防灘断層帯	7.0		周防灘断層群主部 ^{※1}	7.0 (7.2)		周防灘断層群主部 ^{※1}	7.0 (7.2)	
⑦ 別府地溝北縁断層帯	7.0					日出生断層帯	6.9	
⑧ 崩平山-万年山地溝北縁断層帯	6.8					万年山-崩平山断層帯	6.8	H20調査では震源断層と想定していない崩平山-万年山地溝南縁断層帯を含めた評価。
⑨ プレート内	7.4	佐伯市が揺れた場合を想定				プレート内	7.4	佐伯市が揺れた場合を想定

※1 津波被害予測の対象とした地震

※2 ()は津波波源での値

地震動計算を実施

社会的な被害予測のみ実施

想定項目

想定条件：冬の朝、夏の昼、冬の夕
想定単位：250mメッシュもしくは行政区単位

自然災害の予測	地震動、津波、液状化、急傾斜地
建物被害	揺れ、液状化、火災延焼
人的被害	建物倒壊、火災、ブロック塀倒壊、要配慮者・観光客
ライフライン交通	上水道、下水道、電力、電話、都市ガス 道路、鉄道、港湾、空港
社会機能	避難者、住機能、帰宅困難、医療機能、災害廃棄物、孤立集落、経済被害
課題の整理	時系列シナリオ、減災効果の想定

想定シーン

シーン設定	被害の特徴	所在	行動	出火危険性	海水浴客
冬の朝 5時	多くの方が自宅で就寝中に被災、家屋倒壊による人的被害の危険性が高く、津波からの避難が遅れる可能性がある。	自宅	就寝	ほぼなし	なし
夏の昼 12時	木造建築物内の滞留人口が1日の中で少ない時間帯。事務所、繁華街等に滞留者が多く、自宅外で被災する可能性が高い。	事務所・学校・繁華街など (自宅外)	仕事・飲食など	高い	多い
冬の夕方 18時	住宅、飲食店で火気使用が最も多い時間帯。事務所や繁華街周辺での滞留者多く、帰宅ラッシュ時に近い状況。	自宅、繁華街、電車内など	飲食・帰宅途中など	最も高い	なし

建物被害

項目	概要
揺れ	過去地震に基づき作成した被害率曲線(構造・建築年代・階数別)により、財産価値の損失である全壊・半壊棟数別に算定
液状化	過去事例や杭打ちの状況等を踏まえて、被害率(構造・建築年代別)により、財産価値の損失である全壊・半壊棟数別に算定
津波	浸水深と建物構造との関係から、全壊・半壊・床上浸水・床下浸水棟数を算定
斜面崩壊	急傾斜地・地すべり地で被害をもたらした地震の被害事例により、危険個所における人家戸数に応じて全壊戸数を算定
火災	阪神・淡路大震災の事例をもとに、建物全壊率との関係で出火点を算定した上で、過去の地震事例を踏まえた初期出火率を考慮することで、大分県における炎上出火件数を算定した。出火件数と別途算定した消火率を用いて、延焼に至る出火件数を算定し、延焼クラスタを用いた地震火災リスク評価を行い、焼失棟数を算定
ブロック塀	地震動の強さとブロック塀等の被害率との関係実態に基づき算定

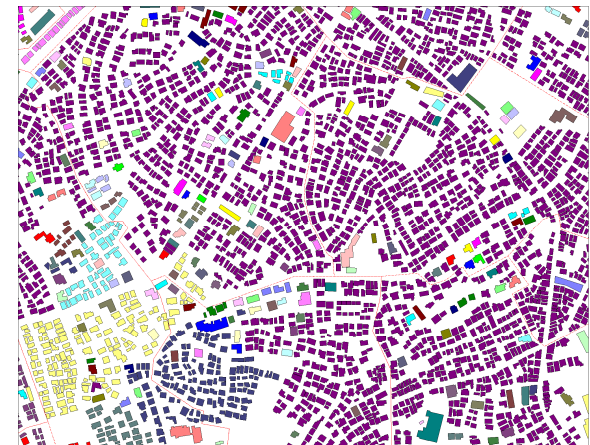
地震火災の想定について

出火の形態

形態	内容
全出火	出火現象としてとらえることのできる全ての出火であり、家人、隣人、自主防災組織等による初期消火活動により消火される火災を含む
炎上出火	家人、隣人、自主防災組織等による初期消火活動で消火できずに残った火災
延焼出火	消防力の一次的な運用で延焼を抑制できなかった出火(延焼火災へ発展する)

計算手法の違いによる消失棟数の比較

計算手法			焼失棟数 (棟)
今回調査	建物単体データを用いた延焼クラスタ	加藤孝明, 程洪, 亜力坤玉素甫, 山口亮, 名取晶子 (2006) : 建物単体データを用いた全スケール対応・出火確率統合型の地震火災リスクの評価手法の構築、地域安全学会論文集 No.8、2006.11.	30,210
過去調査	250mメッシュ	火災予防審議会・東京消防庁 (1997) : 直下の地震を踏まえた新たな出火要因及び延焼性状の解明と対策、1997.3	10,186



延焼クラスタのイメージ

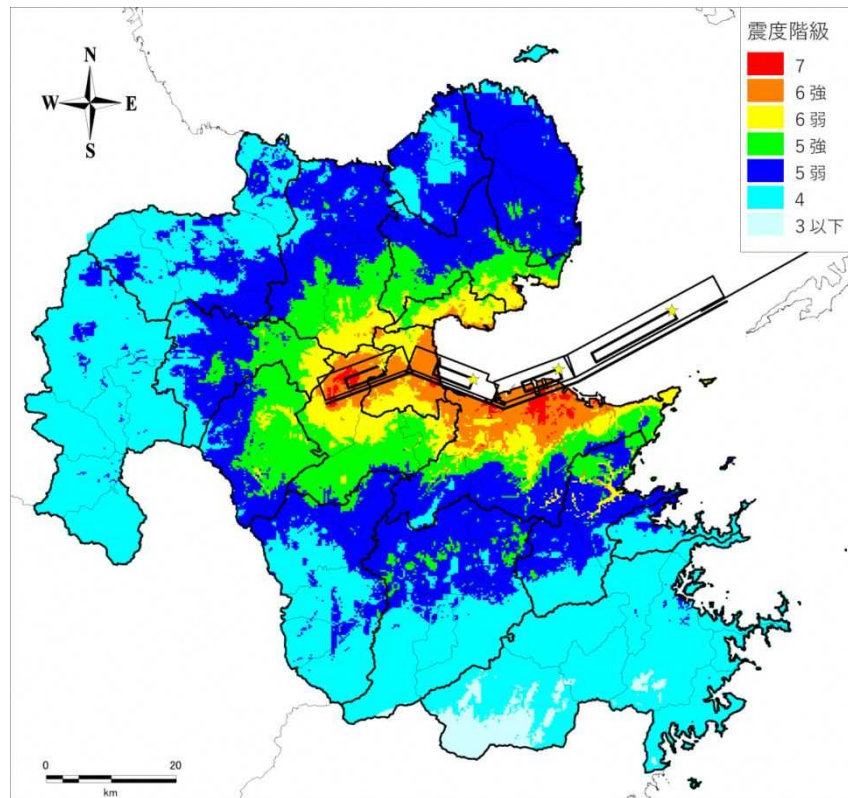
※焼失棟数は、H25調査(別府湾の地震)の出火件数を用いて計算
 ※揺れ等による建物倒壊の被害数を重複処理する前の値

人的被害

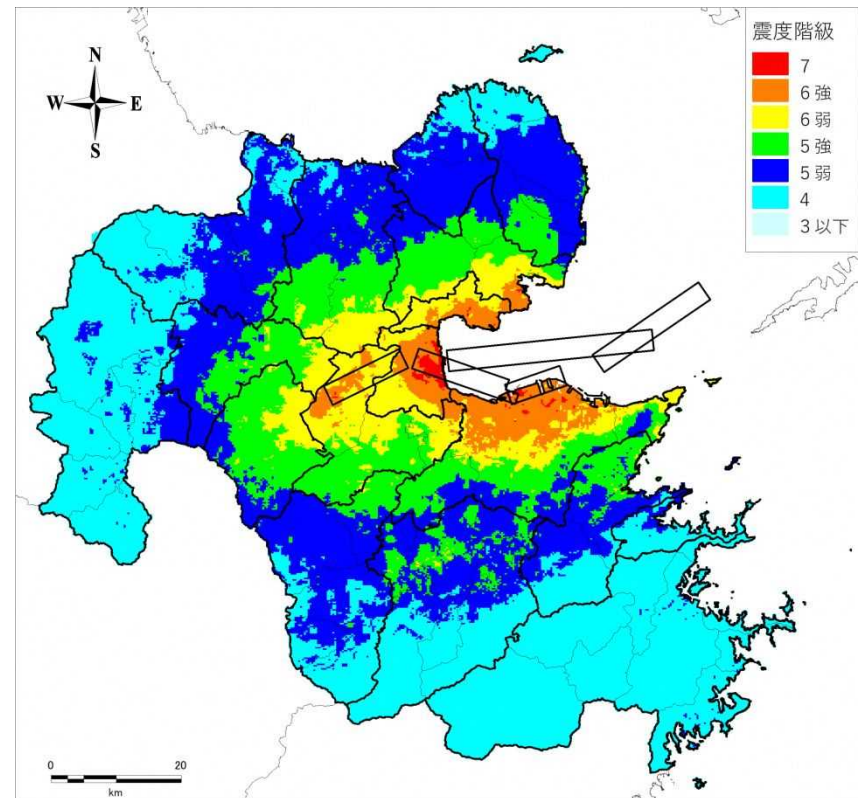
項目	概要
建物被害	阪神・淡路大震災での被害データに基づき、木造建物被害だけでなく、非木造建物被害における死者数も設定し、木造(非木造建物)大破率と木造建物(非木造建物)における死者率との関係により、建物被害による死者数を算定
津波	津波浸水域において津波が到達する時間(浸水深30cm以上)までに避難が完了できなかった者を津波に巻き込まれたものとし、そこでの浸水深をもとに死亡か負傷かを判定
斜面崩壊	伊豆大島近海地震時の被害事例データを用いて、斜面崩壊による大破棟数と死傷者数の比等から算定
火災	大分県の平常時火災から求めた前回(2008)の手法から算定
ブロック塀	宮城県沖地震(昭和53年)のブロック塀等の被害件数と死者数との関係に基づき作成された東京都被害想定(1997)の手法を用いて算定

中央構造線断層帯による地震 地表震度分布

今回調査



H25調査 (別府湾の地震(慶長豊後型地震))



- 別府湾の断層群は二次的な断層(地震動を起こさない断層)と評価されたことから、主に杵築市、日出町等の揺れが軽減
- 火山地域の地震発生層上端深さを3kmから2kmへ変更したことにより、由布市付近の揺れが増加
- 伊予灘セグメント以東の各セグメントの影響及び豊予海峡セグメント拡大の影響により、大分市で震度7の地域が拡大

中央構造線断層帯による地震 建物関係・地震火災・ブロック塀被害の想定

		今回調査							H25調査(別府湾の地震(慶長豊後型))							
		季節時刻	建物被害(棟)	揺れ・液状化		津波	火災(焼失)	斜面	ブロック塀倒壊数(塀数)	建物被害(棟)	揺れ・液状化		津波	火災(焼失)	斜面	ブロック塀倒壊数(塀数)
				揺れ	液状化						揺れ	液状化				
堤防なし	全壊焼失	冬5時	67,983	56,369 (46,309)	1,897 (1,138)	9,598	58	61	27,967	79,911	63,417 (55,070)	1,227 (1,227)	14,150	1,591	86	30,590
		夏12時	76,370				8,445			81,000				4,622		
		冬18時	88,411				20,486			83,027				9,066		
	半壊	59,857	42,630 (26,832)	3,083 (2,093)	14,144 (7,558)	/	/	65,090		45,960 (32,086)	3224 (2,218)	15,886 (8,360)	/	/		
堤防あり	全壊焼失	冬5時	67,527	56,369 (46,309)	1,897 (1,138)	9,142	58	61	79,404	63,417 (55,070)	1,227 (1,227)	13,643	1,591	86		
		夏12時	75,914				8,445		80,493				4,622			
		冬18時	87,955				20,486		82,520				9,066			
	半壊	51,665	42,630 (26,832)	3,083 (2,093)	12,037 (6,085)	/	/	62,991	45,960 (32,086)	3224 (2,218)	13,787 (6,877)	/	/			

※1：今回調査の建物棟数は692,300(木造550,700)、前回調査は696,900(木造556,900)

※2：建物棟数、揺れ・液状化の()内は木造建物数

※3：津波の()内は床上浸水の数

※4：堤防なし：津波による被害は、堤防が機能しない場合

※5：堤防あり：津波による被害は、津波が乗り越えたら破堤する場合

中央構造線断層帯による地震 人的被害の想定

			今回調査						H25調査(別府湾の地震(慶長豊後型))					
季節・時刻	早期避難率	堤防	死者(人)	建物崩壊	津波	火災	斜面	ブロック塀	死者(人)	建物崩壊	津波	火災	斜面	ブロック塀
有	14,696	12,470	25,823	23,422										
高い	無	7,110	4,883	9,663	7,262									
	有	5,339	3,113	7,665	5,264									
夏12時	低い	無	28,973	1,553	26,863	549	3	5	33,646	1,654	31,899	87	4	2
		有	24,956		22,847				33,350		31,603			
	高い	無	12,106		9,997				12,012		10,265			
		有	10,259		8,149				10,324		8,577			
冬18時	低い	無	30,630	1,698	27,587	1,332	5	7	36,399	1,990	34,180	218	7	4
		有	26,185		23,143				36,050		33,831			
	高い	無	13,761		10,719				14,156		11,937			
		有	11,808		8,765				12,156		9,937			

※1：今回調査の人口数は、5時：1,166,300、12時：1,212,800、18時：1,196,700

※2：前回調査の人口数は、5時：1,210,000、12時：1,198,200、18時：1,202,300

※3：堤防なし：津波による被害は、堤防が機能しない場合

※4：堤防あり：津波による被害は、津波が乗り越えたら破堤する場合

※5：早期避難率低い：早期避難者比率が低い場合（すぐに避難する人は20%、避難するがすぐには避難しない人は50%）

※6：早期避難率高い：早期避難者比率が高く、さらに情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合（すぐに避難する人は70%、避難するがすぐには避難しない人は30%）

中央構造線断層帯による地震

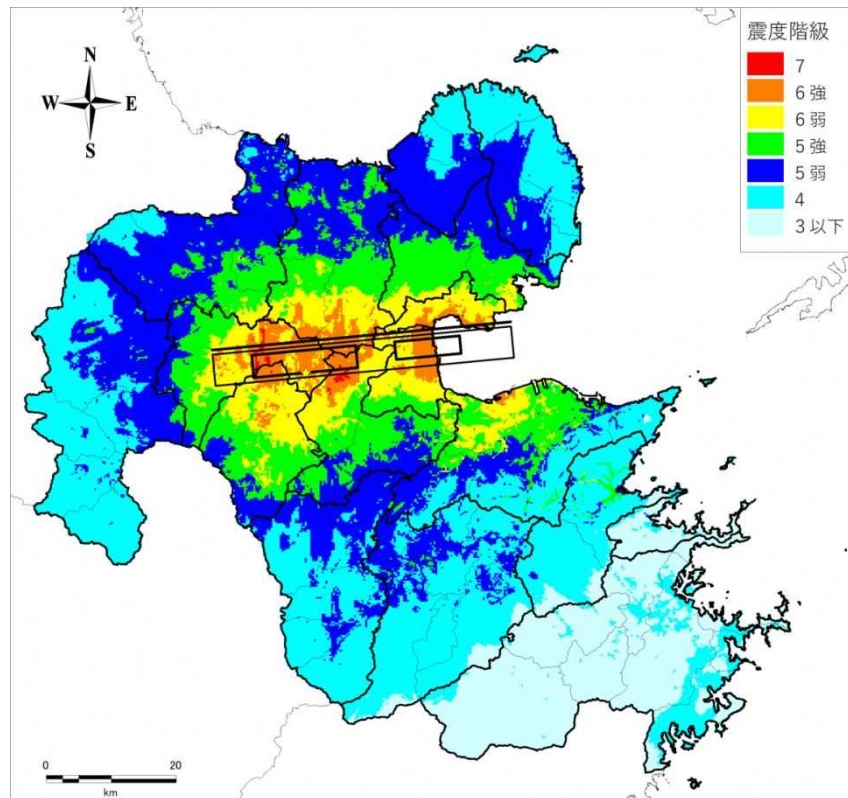
建物被害・人的被害等のまとめ

項目	建物被害	人的被害
揺れ・液状化	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化が進み、全体の被害減 揺れ方の変化に伴い、地域によって被害増減 	<ul style="list-style-type: none"> 建物被害と同様に揺れ方の変化に伴い、地域によって被害増減
津波	<ul style="list-style-type: none"> 揺れの被害による建物被害増の地域は、津波による被害減 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水人口(津波による浸水に曝される人口)減により、津波による被害減
地震火災	<ul style="list-style-type: none"> 建物単体データを用いた延焼クラスタによる解析を実施したため、被害増 冬5時の火災(焼失棟数)の減少は、延焼出火が0となったため 	<ul style="list-style-type: none"> 焼失棟数増により、被害増
斜面	<ul style="list-style-type: none"> 揺れ方の変化に伴い、被害減 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ変化なし
ブロック塀	<ul style="list-style-type: none"> 揺れ方の変化に伴い、被害減 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ変化なし

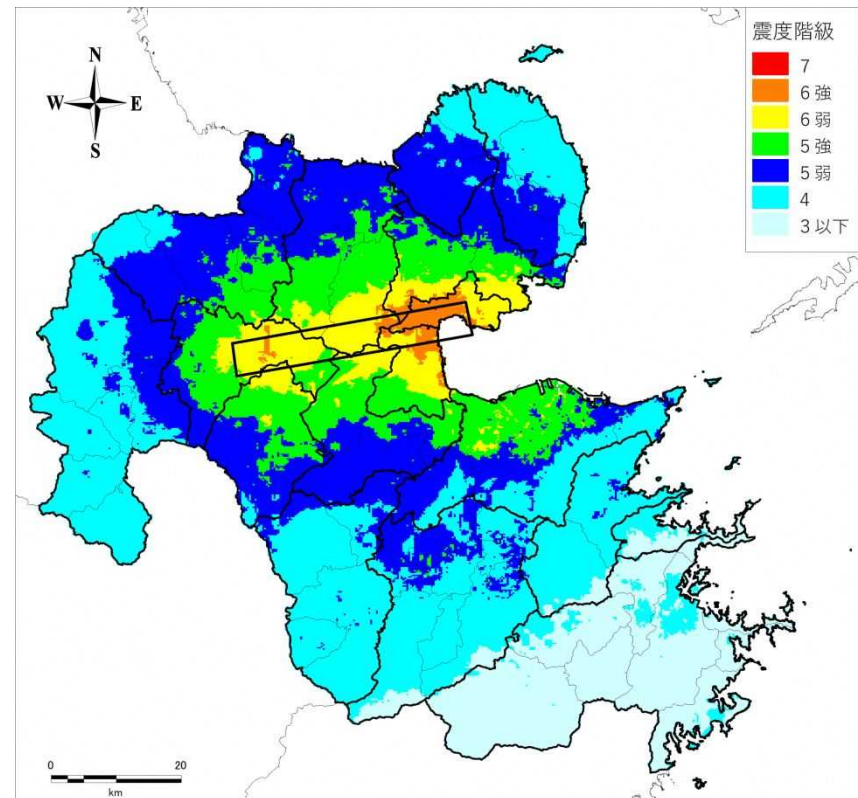
日出生断層帯による地震

地表震度分布

今回調査



H20調査 (別府地溝北縁断層帯による地震)



- H30地震本部に基づき、断層位置が南側に設定され、日出町の揺れの範囲が軽減、別府市の揺れの範囲が拡大
- 火山地域の地震発生層上端深さを3kmから2kmへ変更したことにより、由布市付近の揺れが増加
- 断層が近づいたこと、及びH29重点モデルの影響により大分市の揺れが増加

日出生断層帯による地震

建物関係・地震火災・ブロック塀・人的被害の想定

建物被害

	季節時刻	建物被害(棟)	揺れ・液状化		火災(焼失)	斜面	ブロック塀倒壊数(塀数)
			揺れ	液状化			
			全壊焼失	冬5時	12,698	11,347 (9,623)	
	夏12時	16,745	4,063				
	冬18時	21,184	8,502				
半壊		17,718	15,584 (13,066)	2,134 (1,473)			

人的被害

季節・時刻	死者(人)	建物崩壊	人的被害		
			火災	斜面	ブロック塀
冬5時	357	354	1	2	0
夏12時	525	257	264	1	3
冬18時	835	276	553	2	5

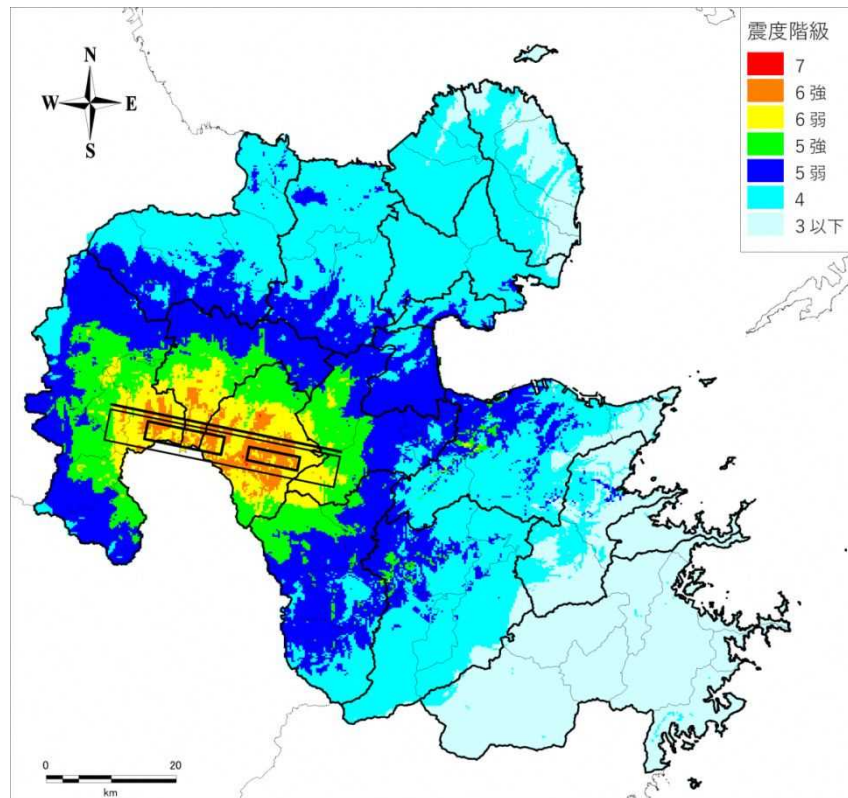
※1：今回調査の人口数は、5時：1,166,300、12時：1,212,800、18時：1,196,700※3：H20調査では、人的被害は算定していない

※1：今回調査の建物棟数は692,300(木造550,700)
 ※2：建物棟数、揺れ・液状化の()内は木造建物数
 ※3：H20調査では、建物・人的被害は算定していない

- 今回調査で、建物被害・人的被害を初めて算定した
- 揺れによる建物被害が多くみられる
- 延焼出火することにより、火災による建物焼失、人的被害も多い

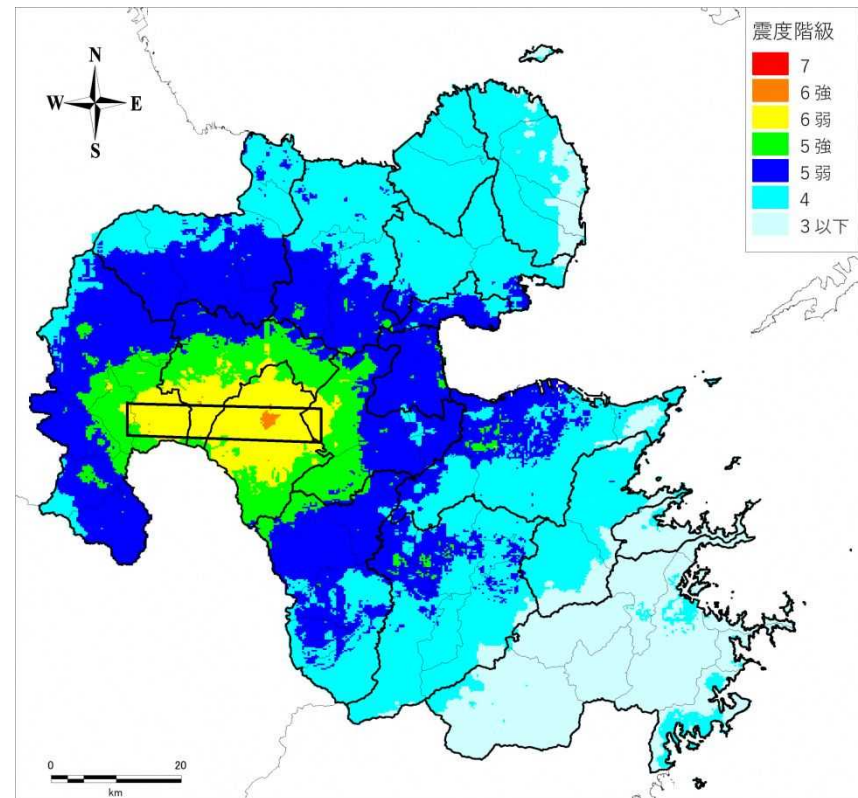
万年山-崩平山断層帯による地震

今回調査



H20調査

(崩平山-万年山地溝北縁断層帯による地震)



- 火山地域の地震発生層上端深さを3kmから2kmへ変更したことにより、震源直上付近の揺れが増加

万年山-崩平山断層帯による地震

建物関係・地震火災・ブロック塀・人的被害の想定

		今回調査					H20調査(崩平山-万年山地溝北縁断層帯による地震)						
	季節時刻	建物被害(棟)	揺れ・液状化		火災(焼失)	斜面	ブロック塀倒壊数(塀数)	建物被害(棟)	揺れ・液状化		火災(焼失)	斜面	ブロック塀倒壊数(塀数)
			揺れ	液状化					揺れ	液状化			
全壊焼失	冬5時	2,092	1,904 (1,730)	182 (130)	0	6	5,445	2,034	1,736 (1,575)	292 (203)	0	6	4,876
	夏12時	2,093			1			2,037			3		
	冬18時	2,096			4								
半壊		3,703	3,404 (3,252)	299 (232)				3,353	2,891 (2,734)	461 (346)			

※1：今回調査の建物棟数は692,300(木造550,700)、前回調査は693,700(木造580,000)

※2：建物棟数、揺れ・液状化の () 内は木造建物数

※3：H20調査では、夏12時の建物・人的被害は算定していない

		今回調査				H20調査(崩平山-万年山地溝北縁断層帯による地震)				
季節・時刻	死傷者(人)	建物崩壊	火災	斜面	ブロック塀	死者(人)	建物崩壊	火災	斜面	ブロック塀
夏12時	15	15	0	0	0					
冬18時	16	15	0	1	1	24	22	0	1	1

※1：今回調査の人口数は、5時：1,166,300、12時：1,212,800、18時：1,196,700

※2：H20調査の人口数は、5時：1,225,400、18時：1,227,000

※3：H20調査では、夏12時の人的被害は算定していない

➤ 揺れ・液状化被害に変化はあるが、全体の被害数はほとんど変化なし

地震被害想定調査のまとめ

1. 過去調査を踏襲し、最新の知見により自然災害予測・社会的な被害予測を実施した
2. 自然災害予測では、揺れ方が異なるものの、過去調査と同程度の揺れに見舞われることを確認した
3. 中央構造線断層帯による地震は、全体的に被害が減少した
 - － 建物の耐震化等により、全体の被害は減少している
 - － 揺れの分布に伴い、一部地域で建物被害の増減がみられた
 - － 浸水人口の減少により、津波による人的被害は減少している
 - － 建物単体データを用いた延焼クラスタによる解析の火災被害解析により、地震火災による建物被害・人的被害が増加している
4. 日出生断層帯による地震は、今回調査で初めて被害を算定した
 - － 延焼出火することによる建物焼失及び死者数が多い
5. 万年山-崩平山断層帯による地震は、全体的な被害はほとんど変化なし
6. 過去5～10年間の社会構造の変化(耐震化率の向上、人口減など)に伴い、全体的な建物被害・人的被害・ライフライン被害・社会機能支障等は減少しているが、依然として多くの被害が想定されている

參考資料

各調査結果について

略称	名称
H20調査(県)	大分県地震被害想定調査 (平成18~19年度) 同 報告書 (平成20年3月)
H25調査(県)	大分県地震津波被害想定調査 (平成23~24年度) 同 報告書 (平成25年3月)
H29重点調査(京大)*	別府-万年山断層帯(大分平野-由布院断層帯東部)における重点的な調査観測 (平成26~28年度) 同 報告書 (平成29年5月)
H29長期評価(国)	中央構造線断層帯(金剛山地東縁-由布院)の長期評価 (第二版) 日出生断層帯の長期評価(第一版) 万年山-崩平山断層帯の長期評価(第一版) (平成29年12月)
H30地震本部(国)	全国地震動予測地図2018年版 (平成30年6月)

*H29重点調査(京大)は、文部科学省の科学技術基礎調査等委託事業による委託業務として、国立大学法人京都大学大学院理学研究科が実施

人的被害の定義

名称	定義
死者	建物被害(建物倒壊(家具転倒も含む))、津波浸水、火災などによる死者を想定
負傷者	建物被害や火災などにより、病院において治療が必要な負傷者を想定
重篤者	生命を救うため、直ちに処置を必要とするもの。入院が必要
重傷者	多少の治療の時間が遅れても生命に危険がないもの。入院が必要
中等傷者	上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を要しないもの。入院は不要
要救助者	建物倒壊により閉じこめられたもの

出典：愛知県(2003) P.8-5
トリアージの概念に基づく負傷区分について

市町村別最大震度

(注1) 割合は各市町村メッシュ数に対する震度6弱、6強、7のメッシュ数の%表示
 (注2) 1以上は四捨五入表示、1未満は小数第2位以下切上表示、「-」は0を表す

地震名		中央構造線断層帯による地震				日出生断層帯による地震				万年山-崩平山断層帯による地震			
市町村名	メッシュ数	今回調査		H25調査 (別府湾の地震(慶長豊後型))		今回調査		H20調査 (別府地溝北縁断層帯による地震)		今回調査		H20調査 (崩平山-万年山北縁断層帯による地震)	
		震度	割合	震度	割合	震度	割合	震度	割合	震度	割合	震度	割合
大分市	7,881	7	(17, 26, 5)	7	(20, 27, 1)	6強	(12, 1, -)	6弱	(2, -, -)	6弱	(0.3, -, -)	6弱	(0.1, -, -)
別府市	2,016	7	(45, 52, 2)	7	(46, 41, 12)	7	(48, 28, 0.4)	7	(43, 20, 0.3)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)
中津市	7,661	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	6強	(3, 0.2, -)	6弱	(0.9, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)
日田市	10,303	5弱	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	6強	(13, 3, -)	6強	(10, 0.1, -)
佐伯市	14,302	5弱	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)
臼杵市	4,648	6強	(4, 0.4, -)	6弱	(0.7, -, -)	6弱	(0.3, -, -)	5弱	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)
津久見市	1,443	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)
竹田市	7,399	5強	(-, -, -)	6弱	(0.4, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	6弱	(2, -, -)	5強	(-, -, -)
豊後高田市	3,276	5弱	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)	4	(-, -, -)
杵築市	4,521	6強	(11, 1, -)	7	(25, 5, 0.2)	6強	(13, 0.1, -)	6強	(22, 4, -)	5強	(-, -, -)	5弱	(-, -, -)
宇佐市	6,831	6強	(11, 0.6, -)	6強	(16, 0.4, -)	7	(18, 11, 0.1)	7	(22, 2, 0.1)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)
豊後大野市	9,302	5強	(-, -, -)	6弱	(0.5, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	6弱	(0.1, -, -)	5強	(-, -, -)
由布市	5,077	7	(30, 18, 3)	7	(47, 13, 0.1)	7	(22, 10, 1)	6弱	(11, -, -)	6強	(13, 0.1, -)	6強	(8, 0.1, -)
国東市	4,992	6弱	(0.1, -, -)	6弱	(0.2, -, -)	5強	(-, -, -)	5強	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)
姫島村	141	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)	4	(-, -, -)
日出町	1,245	6強	(59, 12, -)	7	(57, 41, 1)	7	(64, 24, 0.7)	7	(41, 55, 0.3)	5弱	(-, -, -)	5強	(-, -, -)
九重町	4,242	6弱	(5, -, -)	6強	(18, 0.3, -)	7	(33, 8, 0.3)	6強	(10, 0.1, -)	7	(44, 29, 0.2)	6強	(68, 2, -)
玖珠町	4,549	6強	(9, 0.5, -)	6強	(12, 0.2, -)	7	(27, 24, 2)	6強	(34, 2, -)	6強	(21, 5, -)	6強	(25, 0.1, -)

死傷者数

津波による被害は堤防が機能しないとした場合かつ早期避難率が低い場合

地震名		季節時刻	今回調査				過去調査			
			死者	重篤者	重傷者	中等傷者	死者	重篤者	重傷者	中等傷者
早期避難率が低い場合	中央構造線断層帯による地震	冬5時	18,667	49	4,121	11,174	26,234	48	5,145	12,984
		夏12時	28,973	152	3,087	9,986	33,646	67	3,228	9,802
		冬18時	30,630	290	3,618	11,324	36,399	90	3,298	9,699
	日出生断層帯による地震	冬5時	357	12	66	772				
		夏12時	525	64	288	1,565				
		冬18時	835	116	499	2,130				
	万年山-崩平山断層帯による地震	冬5時	20	0	3	28	27	4	22	309
		夏12時	15	0	5	38				
		冬18時	16	1	7	39	24	4	26	285
	南海トラフ巨大地震	冬5時	15,178	3	3,990	7,962	19,053	3	5,451	10,815
		夏12時	20,077	7	1,751	3,682	21,332	5	2,144	4,447
		冬18時	19,521	8	1,649	3,442	21,923	5	2,063	4,257
	周防灘断層群主部による地震	冬5時	861	0	386	751	959	-	422	820
		夏12時	883	0	220	428	804	0	185	362
		冬18時	926	0	217	422	901	0	199	388
	プレート内地震	冬5時	18	1	6	84	23	8	52	587
		夏12時	13	1	9	104				
		冬18時	14	1	9	94	28	18	105	682

死傷者数

津波による被害は堤防が機能しないとした場合かつ早期避難率が高い場合

地震名		季節時刻	今回調査				過去調査			
			死者	重篤者	重傷者	中等傷者	死者	重篤者	重傷者	中等傷者
早期避難率 が低い 場合	中央構造線断層帯による地震	冬5時	7,110	49	1,733	6,540	9,663	48	2,087	7,047
		夏12時	12,106	152	1,597	7,092	12,012	67	1,284	6,027
		冬18時	13,761	290	2,451	9,057	14,156	90	1,727	6,650
	日出生断層帯による地震	冬5時	357	12	66	772	/	/	/	/
		夏12時	525	64	288	1,565	/	/	/	/
		冬18時	835	116	499	2,130	/	/	/	/
	万年山-崩平山断層帯による地震	冬5時	20	0	3	28	27	4	22	309
		夏12時	15	0	5	38	/	/	/	/
		冬18時	16	1	7	39	24	4	26	285
	南海トラフ巨大地震	冬5時	680	3	84	380	750	3	83	394
		夏12時	593	7	65	410	644	5	55	391
		冬18時	634	8	80	396	697	5	67	381
	周防灘断層群主部による地震	冬5時	447	0	198	385	515	-	221	431
		夏12時	463	0	112	220	426	0	100	197
		冬18時	484	0	110	215	479	0	108	211
	プレート内地震	冬5時	18	1	6	84	23	8	52	587
		夏12時	13	1	9	104	/	/	/	/
		冬18時	14	1	9	94	28	18	105	682

社会（人口・建物）データの更新

	今回調査	H25調査	H20調査
人口データ	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年国勢調査(1/8メッシュ) ② 平成22年国勢調査, 平成21年経済センサス基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計 ③ 平成28年社会生活基本調査 	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成17年国勢調査小地域集計結果 ② 平成17年国勢調査, 平成18年事業所・企業統計調査地域メッシュ統計リンク結果 ③ 平成18年事業所企業統計調査町丁・大字別集計結果 	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成12年国勢調査小地域集計結果 ② 平成12年国勢調査, 平成13年事業所・企業統計調査地域メッシュ統計リンク結果 ③ 平成13年事業所企業統計調査町丁・大字別集計結果
建物データ	<ul style="list-style-type: none"> ① 固定資産税による建物データ(大分県市町村)(平成29年1月1日) ② 大分県住宅・土地統計調査(総務省統計局)(平成25年10月1日) ③ 大分県住宅・土地統計調査(総務省統計局)(平成20年10月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 固定資産税による建物データ(大分県市町村)(平成24年3月) ② 大分県住宅・土地統計調査(総務省統計局)(平成20年10月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 固定資産税による建物データ(大分県市町村)(平成19年3月) ② 大分県住宅・土地統計調査(総務省統計局)(平成15年10月1日)

市町村別建物棟数(棟)

市町村	今回調査			H25調査		
	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造
大分市	167,000	106,500	60,500	165,300	106,100	59,200
別府市	45,200	32,700	12,500	52,100	38,600	13,500
中津市	62,400	53,400	9,000	61,000	52,400	8,600
日田市	50,300	44,000	6,400	51,000	44,200	6,800
佐伯市	59,800	50,100	9,700	60,500	50,800	9,700
白杵市	29,100	24,600	4,600	29,600	25,000	4,600
津久見市	16,100	13,200	2,900	16,600	13,600	3,000
竹田市	27,200	24,000	3,200	27,700	24,400	3,300
豊後高田市	22,600	19,900	2,700	22,700	20,100	2,600
杵築市	23,500	19,600	3,900	23,600	19,700	3,900
宇佐市	45,800	39,100	6,700	46,000	39,400	6,600
豊後大野市	38,300	33,100	5,200	37,300	32,900	4,400
由布市	24,600	21,400	3,200	22,800	20,000	2,800
国東市	33,300	29,700	3,600	33,500	30,000	3,500
姫島村	2,600	2,500	100	2,600	2,500	100
日出町	17,100	13,400	3,600	16,900	13,300	3,600
九重町	11,400	9,700	1,700	11,300	9,700	1,600
玖珠町	15,900	13,800	2,100	16,300	14,200	2,100
合計	692,300	550,700	141,600	696,900	556,900	140,000

市町村別世帯数・人口

市町村	今回調査				H25調査				H20調査		
	世帯数	朝5時人口	昼12時人口	夕18時人口	世帯数	朝5時人口	昼12時人口	夕18時人口	世帯数	朝5時人口	夕18時人口
大分市	203,500	478,200	488,300	484,800	183,700	463,000	463,800	463,500	174,900	455,500	460,600
別府市	55,600	122,100	126,800	125,200	55,100	126,900	124,600	125,400	52,900	126,300	126,100
中津市	35,800	84,000	85,200	84,800	32,900	84,300	86,200	85,600	32,000	86,000	86,700
日田市	25,200	66,500	72,400	70,300	25,400	74,200	74,300	74,300	25,200	77,300	78,000
佐伯市	29,600	72,200	77,300	75,500	30,700	80,300	78,200	79,000	31,000	84,200	83,200
臼杵市	15,100	38,700	41,200	40,300	15,500	43,400	41,100	41,900	15,500	45,600	44,200
津久見市	7,500	18,000	20,000	19,300	8,400	21,500	20,400	20,800	8,500	23,100	23,100
竹田市	9,100	22,300	26,200	24,900	10,100	26,600	27,700	27,300	10,300	28,800	29,300
豊後高田市	9,600	22,900	24,200	23,800	9,700	25,000	24,500	24,700	9,700	26,500	26,300
杵築市	12,100	30,200	33,800	32,600	13,000	33,600	34,600	34,300	11,800	33,600	34,000
宇佐市	22,500	56,200	56,700	56,500	22,900	61,000	59,500	60,000	22,600	62,900	62,500
豊後大野市	14,300	36,600	39,300	38,300	15,100	41,500	40,000	40,600	15,300	43,700	42,800
由布市	13,300	34,200	32,600	33,200	12,400	35,000	33,200	33,800	12,300	35,900	35,700
国東市	12,100	28,600	34,300	32,300	13,600	34,200	34,200	34,200	13,200	35,700	35,800
姫島村	900	2,000	2,200	2,100	1000	2,500	2,300	2,400	1000	2,800	2,700
日出町	10,900	28,100	24,800	26,000	10,110	27,600	24,900	25,800	9,000	26,200	24,900
九重町	3,500	9,700	10,800	10,400	3,600	11,100	10,700	10,800	3,600	11,700	11,600
玖珠町	6,000	15,800	16,700	16,400	6,300	18,300	17,800	18,000	6,500	19,600	19,500
総計	486,600	1,166,300	1,212,800	1,196,700	469,400	1,210,000	1,198,200	1,202,300	455,200	1,225,400	1,227,000